

# イントラネットを利用した行政情報提供システムの試作と検討 —Web上での情報管理に関する一考察—

近藤 潔\*・米川 寛\*・土肥 慶一郎\*\*・山本 真弘\*\*\*

(平成10年5月15日受理)

## 要 旨

イントラネットを利用した行政情報の共有と外部への公開を目的に高岡市と高岡短期大学が共同で研究を行なった。行政情報は市民への公開が第1目的でありWebにより市民に公開している市も多いが、市民のみならず市役所内部での利用価値も高い。これらの情報の生成と維持には多くの部署が関係するため、現有の「窓口ガイド」のような紙の文書に保管しては頻繁に行なわれる情報の更新と配布に適切に対応しにくいという問題があった。イントラネットを利用し、Web上で担当者が直接に情報を作成・変更できるシステムを試作し、情報の迅速な更新と配布を実現できることを検証した。更に、試作システムの結果と高岡短期大学でのWebの運用経験に基づき、イントラネットにおけるWebを利用した情報管理の位置づけと今後の方向について考察した。

## キーワード

イントラネット, ホームページ, Web, 行政情報, 情報管理, 文書情報, 情報検索

## 1. はじめに

Web技術とそれを利用した応用システムは急速に成長しているが、とりわけ組織内部の情報に対するニーズをWeb技術が支援する「イントラネット」の伸びが最も大きいと言われている<sup>1)</sup>。Webを基盤としたイントラネットは従来型のトランザクション・データベースのみならず、文書情報の管理に威力を発揮することが報告されている<sup>1)-4)</sup>。

高岡市と高岡短期大学が共同で行なったホームページを利用した市政サービス向上に関する研究のテーマとしてイントラネットにおける情報管理の問題をとりあげ、行政情報を対象としたシステムを試作し、有効性を検討し

た。更に、試作システム及び高岡短期大学内のWebの運用経験に基づき、イントラネットにおけるWebを利用した情報管理の問題について考察を加えた。

なお、ここでは「Web」という語は以下の3つの意味を持つものとする<sup>1)</sup>：

1. サーバ及びゲートウェイよりなる物理的なネットワーク
2. ネットワークのリンクとノードからなる分散Webに含まれるコンテンツ
3. インターネット技術

## 2. 計画と目標

高岡市の行政情報は文書の形式で「窓口ガ

イド」にまとめられている<sup>5)</sup>。窓口ガイドの内容は多岐に渡っており、市民サービスの窓口としての重要性が高い。内容的には行政情報の概要と担当連絡先が記載されており、詳しい情報が必要の場合は担当連絡先に電話等でコンタクトする仕組みになっている。

富山市ではホームページに「行政の手引き」のコーナーを設け<sup>6)</sup>、金沢市では「くらしの情報」のコーナー<sup>7)</sup>で行政情報を公開して市民によるアクセスの便を図っている。高岡市でも行政情報をホームページで公開すべく検討することとなったが、ただ公開だけでなく、同時に業務の効率化を達成すべく以下の目標を設定した：

1. 市民のみならず市職員にも有用なものとする
2. データの作成、変更の手間を最小限にする

1に関しては、行政情報の種類が多いため、市民向けの行政情報は担当以外の職員にとってそのままでも有用であるが、次に示す理由から、市民向けと職員向けとで情報の分類及び公開する情報の範囲を自由に変えられるようにしたい。

- ・市民向けと予備知識のある職員向けとで情報の分類を変えた方が使いやすい
- ・市民に不用の情報でも職員に有用な情報を活用したい

2に関しては、次に示す情報に対して同一の情報源を使うようにし、同じ情報を再度入力しないような仕組みとする。

- ・紙で印刷する窓口ガイド
- ・市民向けのWebによる行政情報
- ・職員向けのWebによる行政情報

以上の目標に沿ってシステムの設計を行なった。

### 3. システム概要

#### 3.1 全体構成

前章で述べた目標を達成するため、図1に示すようなシステムの構成をとることにした。この構成図の内容を以下に説明する：

1. 行政情報へのアクセスは市役所の内外ともWebブラウザで行なう
2. 行政情報の生データは内部サーバの行政情報データベースに保管する
3. 行政情報データベースは担当職員がWebブラウザで作成・編集する
4. 市民向けに公開する行政情報は外部サーバにHTMLファイルで保管する
5. 職員向けに公開する行政情報は内部サーバにHTMLファイルで保管する
6. 行政情報データベースのデータから、内部及び外部サーバのHTMLファイルを作成する作業はプログラムが自動で行なう

市民向けと職員向けのホームページを別個に用意し、単一のデータベースから自動的にHTMLファイルを生成することで、市民と職員の両方に有用な情報の提供と、最小限の手間でのデータ作成・変更が実現できると考えた。

#### 3.2 全文検索機能

行政情報は内容が多岐に渡るため、ジャンルによる分類だけでは目的の情報に到達できない場合が予想される。そこで、Webと相性の良い全文検索エンジンであるWAIS(Wide Area Information Server)<sup>8)9)10)</sup>を使用することにした。WAISソフトウェアは対象となるファイルからテキスト形式のインデックスを作成し、キーワードや文章表現をインデックスづけされたファイルの中から探し出すことができる。

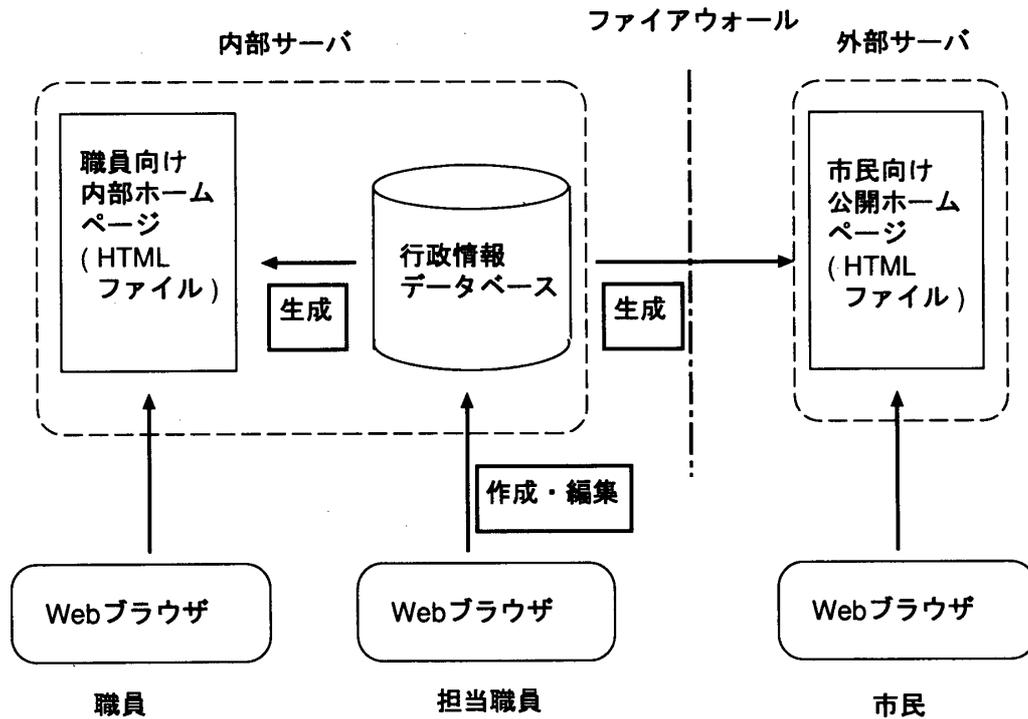


図1：全体構成

#### 4. 試作システム

高岡市行政情報提供システムの試作システムは、高岡市が有する行政情報の一部を対象として高岡短期大学のコンピュータ上に構築した。

##### 4.1 行政情報の分類

行政情報は、市民向けには用途別に分類し、内部職員向けには部署別に分類した。用途別分類を以下に、部署別分類を表1に示す。表1の部署数は実際の半分程度である。

1. 市政ガイド
2. 暮らしの情報
3. 届出・手続き情報
4. 健康情報
5. 教育情報
6. 福祉情報
7. 観光・イベント情報
8. 救急・防災情報
9. 高岡市からのお知らせ

表1：部署による分類

コード	部署名	コード	部署名
0201	企画課	0401	中小企業課
0202	秘書課	0403	工業労政課
0203	人事課	0404	観光物産課
0204	広報統計課	0405	観光協会
0205	(企)総務課	0501	農林水産課
0207	職員研修所	0502	農地課
0208	女性行政室	0601	環境保全課
0209	国際室	0602	戸籍課
0302	財政課	0603	市民生活課
0303	監理課	0604	交通対策課
0304	工事検査課	0701	社会福祉課
0305	市民税課	0702	児童福祉課
0306	資産税課	0703	高齢福祉課
0307	納税課	0704	国民年金課
0308	行政管理課		
0309	管財用地課		
0310	電子計算課		

##### 4.2 処理の流れ

データ及び検索インデックスの作成は図2に示す流れにより、担当職員が自分でWebブラウザ上で行なう。

### 入力・変更

図2の「1. 情報登録・変更・削除」を選択すると図3に示す画面が現れる。ここでデータの入力・変更操作を行なう。この部分はPerl<sup>11)</sup>のCGIモジュール<sup>12)</sup>を用いて作成した。入力・変更操作の概要を以下に示す：

- ・担当課をメニューから選ぶ
- ・変更の場合、登録番号を入力してから既存のデータ呼び出す
- ・公開可否により市民向けに公開するかどうかを選択する
- ・公開する場合の分類を選択する
- ・内容等の必要事項を記入する

## 高岡市・情報登録公開システム

### ・データ作成

1. 情報登録・変更・削除  
register.pl
2. 非公開ページと公開ページの再構築  
buildhtml.pl
3. 公開ページのファイル転送  
ftnopen.pl

### ・検索インデックスの作成

1. データベース再構築  
dbmake.pl
2. データベース更新（追加）  
dbupdate.pl
3. インデックスの表示  
showindex.pl

図2：データ作成の流れ

### 高岡市行政情報提供システムの入力

担当課：  登録番号：

件名：

担当係：  TEL：  FAX：

公開可否：  非公開  公開

分類：

市政ガイド       健康情報       観光・イベント情報  
 暮らしの情報       教育情報       救急・防災情報  
 届出・手続き情報       福祉情報       高岡市からのお知らせ

内容：

市民の皆さんが、市役所へ出向がなくても買い物や散歩のついでに、必要な住民票などの証明書の交付が受けられます。

●場所  
御旅屋セリオ7階

●取扱時間  
月～土曜日 午前9時～午後7時（日曜日、休日、年末年始を除く）

図3：行政情報の入力・編集

### HTMLファイルの作成

上記操作により作成された生データから、公開用のHTMLファイルと内部用のHTMLファイルを作成するのが図2の「2. 非公開ページと公開ページの再構築」である。利用者がこのメニューを選択すると自動的にHTML

ファイルが作成される。また、公開用のHTMLファイルを公開用の外部サーバに転送するのが「3. 公開ページのファイル転送」である。この部分はPerl<sup>11)</sup>のNet::FTPモジュール<sup>12)</sup>を用いて作成した。

図4に生成した公開画面の例を示す。左側

フレームの「福祉情報」を選択すると、右側フレームにその分類で登録されている情報の一覧が表示される。ここで、右側フレームの「0702-1」を選択すると、図5のような情報の内容が表示される。

職員向けの非公開画面は図6のように部署

による分類から選択する。児童福祉課を選択すると右側フレームのような児童福祉課に関する登録情報一覧が表示される。ここで「0702-1」を選択すると、図5の右側フレームと同じ内容が図6の右側フレームに表示される。

高岡市窓口ガイド															
<p><b>Search</b></p> <p>区分の選択</p> <p>届出・手続き情報 福祉情報 暮らしの情報 報 市政ガイド</p>	<h2>福祉情報</h2> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(部課コード)</th> <th>(件名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>0702-1</u></td> <td>保育所に子どもを預けたいとき</td> </tr> <tr> <td><u>0702-2</u></td> <td>児童手当</td> </tr> <tr> <td><u>0702-3</u></td> <td>児童扶養手当</td> </tr> <tr> <td><u>0701-1</u></td> <td>妊産婦医療費助成</td> </tr> <tr> <td><u>0702-4</u></td> <td>高岡市遺児愛育手当</td> </tr> <tr> <td><u>0703-1</u></td> <td>一人暮らしの方へのサービス</td> </tr> </tbody> </table>	(部課コード)	(件名)	<u>0702-1</u>	保育所に子どもを預けたいとき	<u>0702-2</u>	児童手当	<u>0702-3</u>	児童扶養手当	<u>0701-1</u>	妊産婦医療費助成	<u>0702-4</u>	高岡市遺児愛育手当	<u>0703-1</u>	一人暮らしの方へのサービス
(部課コード)	(件名)														
<u>0702-1</u>	保育所に子どもを預けたいとき														
<u>0702-2</u>	児童手当														
<u>0702-3</u>	児童扶養手当														
<u>0701-1</u>	妊産婦医療費助成														
<u>0702-4</u>	高岡市遺児愛育手当														
<u>0703-1</u>	一人暮らしの方へのサービス														

図4：公開画面

高岡市窓口ガイド	
<p><b>Search</b></p> <p>区分の選択</p> <p>届出・手続き情報 福祉情報 暮らしの情報 報 市政ガイド</p>	<div style="float: right;">[0702-1]</div> <h2>保育所に子どもを預けたいとき</h2> <hr/> <p>保育所は、母親が働いていたり、病気などのため、日中家庭で子どもを保育できないとき、保護者にかわって保育するところです。 ○歳児保育、一時的保育、延長保育、休日保育を実施する保育所もあります。</p> <hr/> <p>児童福祉課児童係 TEL: 20-1377 FAX: 20-1665</p> <p><b>Back</b></p>

図5：内容の表示

行政情報提供システム庁内向画面											
<p><b>Search</b></p> <p>部課の選択</p> <p>戸籍課 児童福祉課 社会福祉課 高齢福祉課 環境保全課 企画課 市民生活課 国際室</p>	<h2>児童福祉課別登録情報一覧</h2> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(部課コード)</th> <th>(件名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>0702-1</u></td> <td>保育所に子どもを預けたいとき</td> </tr> <tr> <td><u>0702-2</u></td> <td>児童手当</td> </tr> <tr> <td><u>0702-3</u></td> <td>児童扶養手当</td> </tr> <tr> <td><u>0702-4</u></td> <td>高岡市遺児愛育手当</td> </tr> </tbody> </table>	(部課コード)	(件名)	<u>0702-1</u>	保育所に子どもを預けたいとき	<u>0702-2</u>	児童手当	<u>0702-3</u>	児童扶養手当	<u>0702-4</u>	高岡市遺児愛育手当
(部課コード)	(件名)										
<u>0702-1</u>	保育所に子どもを預けたいとき										
<u>0702-2</u>	児童手当										
<u>0702-3</u>	児童扶養手当										
<u>0702-4</u>	高岡市遺児愛育手当										

図6：職員向け非公開画面

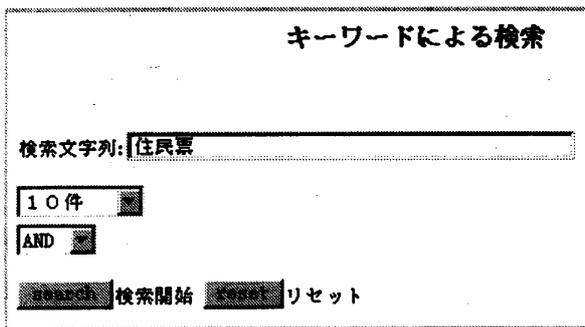


図7：検索画面

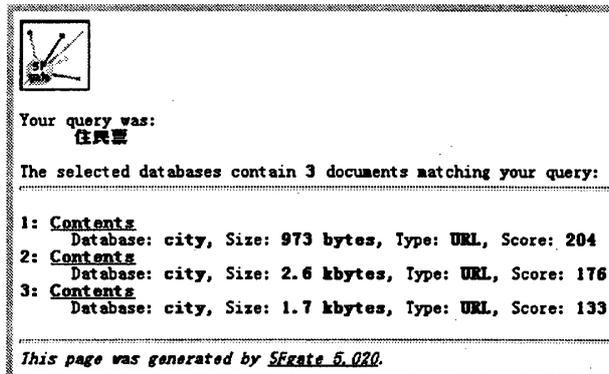


図8：検索結果

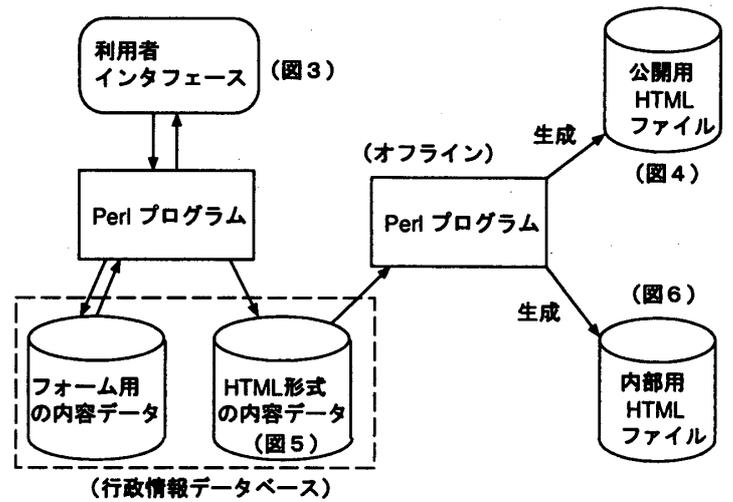


図9：行政情報データベースの実装

```

<!-- 0702 -->
<!-- 1 -->
<!-- open -->
<!-- welfare -->
(以下、通常のHTML)
    
```

図10：生成情報の追加

### 検索インデックスの作成

データを変更した場合、検索インデックスを作り直す必要がある。「1. データベース再構築」はインデックス・データベースを最初から作り直す操作であり、「2. データベース更新 (追加)」は新しく付け加わったインデックスだけを追加する。データベース更新の場合はインデックスの削除を行わないので、定期的に再構築する必要がある。「3. インデックスの表示」は現在登録されているインデックスを全部表示する。

キーワード検索は図4の公開画面でも図6の非公開画面でも行なえる。公開画面でSearchボタンをクリックすると図7のような検索画面が現れる。ここでキーワードに「住民票」と入力して検索を実行すると図8のように検索結果がスコアの高い順に表示される。ここから「Contents」のところを選択して「住民票」のキーワードを含む情報を表示させることができる。

### 4.3 データベースの実装

図1の行政情報データベースからは公開用と内部用のHTMLファイルを生成する必要があり、また、図3の利用者インターフェースからのデータ入力・編集機能に対応する必要がある。図9にこれらの関係を示す。

CGIプログラミングの問題の1つに状態の保存がある。CGIモジュールにはsave( )という関数が用意されており、CGIモジュールに固有の形式でフォームのデータをファイルへ書き出す。生データ (内容データ) はsave関数を用いてテキストファイルへ書きだし、同時にフォームデータから直接HTMLファイルを作成するという方式をとった。このHTMLファイルは図5の右側フレームのようにそのまま内容の表示に使用できる。

図4と図6に示す画面を表示する公開用と内部用のHTMLファイルを生成するために、上記の内容データのHTMLファイルの中に必

要な情報をコメントの形式で埋め込んだ。例えば、図5の内容を示すHTMLファイルは0702-1.htmlという名称をつけ、かつ、ファイルの中に部署コード、追番、公開/非公開、公開時の分類を図10のようにファイルの先頭に挿入した。

公開用と内部用のHTMLファイルを生成するPerlプログラムは、全ての内容データのHTMLファイルを調べ、図10の生成情報から存在するデータの分類とファイル名を関連させる処理をオフラインで実行する。

## 5. 結果の検討

試作システムに検証用のデータを入力して使用し、機能を検討した。

### 5.1 市民、職員にとっての有効性

内部の情報と直接にリンクした行政情報であるため、変更された内容が迅速に反映されるので、市民が良質の情報を得ることができる。

200以上の部署(課・係)が関係する行政情報をそれぞれの部署で管理し、かつだれでも他部署が作成した情報にアクセスできるので、更新情報を配布する仕組みとしてWebの機能が大変有効と思われる。また、全文検索機能が使えるので、組織を横断的に検索することも容易である。

### 5.2 データの作成・変更の手間

データは行政情報の入力・編集画面で作成・変更するだけなので、それ以外の余分な入力作業は発生しない。ただし、文書形式の「窓口ガイド」用のデータを生成するシステムは別に検討する必要がある。

### 5.3 利用者インタフェース

利用者インタフェースに関しては、データがテキストのみの場合は、Webブラウザのフ

ォーム機能のみでほぼ満足いくことがわかった。ただし、図などを使用する場合には不十分である。図を使用する場合にはHTMLファイルのみでなく、画像データも組にして取り扱う必要がある。

### 5.4 セキュリティ、整合性

内部と外部を明確に区分しているのでデータの閲覧に関するセキュリティの問題は発生しない。ただし、データの作成・変更に関しては他部署のデータをかかってに改変することができないような仕組みが必要と思われる。また、データの整合性を守るためにデータ改変に対する排他制御の検討も必要である。

### 5.5 大量データへの対応

この試作システムは大量データへの対応を考慮していない。大量データを扱う場合は関係データベース等のDBMSによるデータ管理が必要であろう。ただし、「窓口ガイド」程度の情報であれば、本システムのようなPerlで作成したプログラムでも性能的には十分に対応できると思われる。

## 6. Webを利用した情報管理についての考察

本論文の行政情報提供システムは元来「窓口ガイド」という1つの冊子にまとめられていた文書情報である。これをWebコンテンツの形式に変換することで種々のメリットが生じることを前章で検討した。Webを利用することで企業等で所有する情報をより上手に管理し、活用できる可能性が高まった。このようなWebを利用した情報管理システムについて考察する。

### 6.1 情報システム環境の変化

メインフレームからLAN環境へのダウンサイジングが浸透した現在では、多くの企業

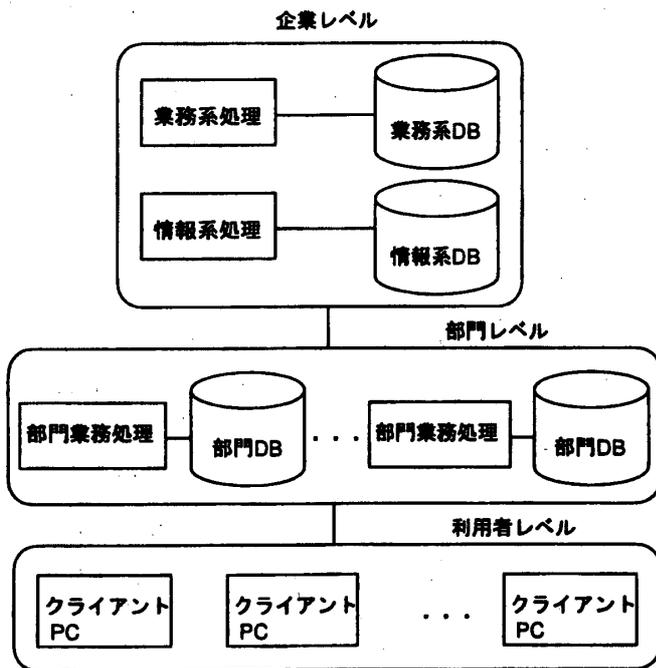


図11：企業システムの階層

システムの構成は図11に示すような3階層の形態をとっている<sup>13)</sup>。

この3階層構成の対象はトランザクション・データベースを中心とした基幹系の業務システムであり、文書のような構造化されていないデータはOAの領域として別に扱われていた。OA分野ではロータスノーツのようなグループウェアが用いられることが多かった<sup>14)</sup>。

企業内部にWeb技術を適用する「イントラネット」は、基幹系の業務システムに対するアクセス機構としてWebを使うことから広まっていったが<sup>15)</sup>、業務システムのみならずOA分野の文書系データの管理に威力を発揮することが報告されている<sup>1)-4)</sup>。これは、HTMLのスーパーセットであるSGMLが文書情報のデータ化を指向して作られた<sup>16)</sup>ことからの当然の帰結であるともいえる。

Webは業務システム及びOAシステムへのアクセス機構であるだけでなく、Webサーバに蓄積されたHTMLファイルやCGIプログラム自体が企業の持つ情報として重要性を高めている。“Knowledge Management(KM)”(「知識管理」)という言葉が、このようなシ

ステムの状況を包括的に表現できる概念として現れた<sup>17)</sup>。

## 6.2 Webの役割

知識中心型情報システムでは、知識の源泉を組織の構成員一人一人であると考え、その知識の取りだしと保持を目標とする<sup>18)</sup>。このような「知識」は基幹系のデータや文書系のデータのみならずWebのサーバに蓄積されたWebコンテンツそのものも包含することになる。

著者らは、システム運営等の問題を対象にWebを利用した情報管理について研究してきた<sup>19)、20)</sup>。システム運営の問題はシステム情報の取得のみならず情報の作成・更新・配布等が大きな部分を占めている点において、本論文の行政情報提供システムと大差がない。また、Webを基本的な仕組みとして用いていることも同様である。

このように、Webはすでに蓄積された情報へのアクセス手段を提供するだけでなく、組織の構成員が持つ知識や各種の蓄積されたデータを共有して活用するための「知識」をコンテンツという形式で所有しているとも考えることもできる。図12にWebに蓄積されたコンテンツを媒介として知識・情報を共有・活用するシステムのイメージを示す。

知識情報は、トランザクション・データベースや文書データの中だけでなく、Webのコンテンツ等の様々な形態で存在し、知識の源泉は組織の構成員の中にある。Webを利用することで、知識情報の作成・更新・配布等が容易になり、知識の正確さや新鮮度といった質が向上し、情報システムとしての利用価値が高まることが期待される。

## 7. 結 言

行政情報を市民に提供するためにホームページを利用する方法は有効であるが、単にホ

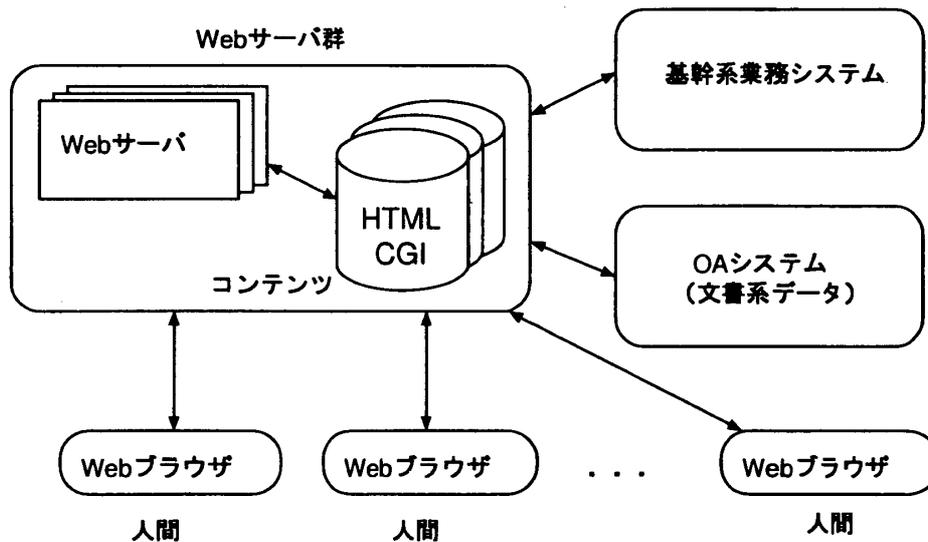


図12: Webを利用した知識中心型情報システム

ホームページ上で情報を公開するだけでなく、市役所内のイントラネットを利用して担当職員自らが情報を作成・変更・閲覧できるシステムを試作して検討することで以下の結論を得た：

1. 市民だけでなく市職員にとっても行政情報システムを有効に活用できる
2. 共通の行政情報データベースを使って自動的にHTMLファイルを作成することでデータの作成・変更の手間を最小限に抑えることができる
3. Webブラウザを利用したフォーム形式の利用者インタフェースでほぼ満足のいく操作が可能である
4. 全文検索機能は組織や分類を越えた情報にアクセスできる点において有効である
5. データの作成・変更に関して認証機能等のアクセス制限が必要である
6. データの整合性の観点から排他制御機能が望ましい
7. 大量データを取り扱う場合はDBMS等のシステムが必要と思われるが、「窓口ガイド」程度の情報であればPerlで作成したプログラムでも十分に対応できる

更に、著者らの経験を元に、Webを利用した情報管理システムについて考察した結果、以下の方向性を得た：

- Webに保存された情報は、トランザクション・データベース、文書データベース、Webコンテンツを含め、「知識」という概念で統一的に扱うことができる
- 今後ますます増大が予想されるWebコンテンツの管理は、知識管理のような広い概念の中で他の情報とともに統一的に実施すべき今後の課題である

## 引用文献

- 1) G.L.Rein, D.L.McCue, J.A.Slein : A Case for Document Management Functions on the Web, Communications of the ACM, Vol.40, No.9, pp.81-89 (1997)
- 2) V.Balasubramanian, A.Bashian, D.Porcher : A Large-scale Hypermedia Application using Document Management and Web Technologies, Hypertext 97, Southampton UK, pp.134-145 (1997)
- 3) B.Burns : Moving Document Control Systems to the Corporate Intranet : One Company's Strategy, SIGDOC 97, Snowbird Utah USA, pp.11-16 (1997)
- 4) 高橋 : 業界の救世主になるか? イントラネット, Bit, pp.13-19 (1997)
- 5) 高岡市広報統計課 : 窓口ガイド'95高岡市 (1995)
- 6) 富山市ホームページ (<http://www.cap.or.jp/toyama/>)
- 7) 金沢市ホームページ (<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp>)
- 8) C.Liu et al. : Managing INTERNET Information Services, O'Reilley & Associates, Inc. (1994)
- 9) 馬場 : フリーソフトで構築する全文検索システム (free WAIS-sfとSFGateを用いた構築例), Software Design, 1997年8月号, pp.90-98
- 10) 相田 : free WAISによるサーチエンジン構築法, UNIX USER, 1998年3月号, pp.43-52
- 11) L.Wall, T.Christiansen : Programming Perl (2nd Edition) , O'Reilley & Associates, Inc (1996)
- 12) E.Siever, D.Futao : Perl Module Reference Vol.1 & 2 (Perl Resource Kit) , O'Reilley & Associates, Inc (1997)
- 13) 棲み分けを明確にしたメインフレーム/UNIX/Windows NT (現実の企業からみた問題点と展望), Open Network, 1997年6月号, pp.65-67
- 14) 井下田 : ノーツとデータベースとインターネット3つの連携でつくる企業システム, Open Network, 1996年10月号, pp.100-106
- 15) 遠藤 : クライアント-サーバ・システムからイントラWebへの展開, Open Neteork, 1996年7月号, pp.46-53
- 16) 吉岡 : SGMLのススメ, オーム社 (1993)
- 17) D.E.O'Lear : Enterprise Knowledge Management, IEEE COMPUTER, Vol.31, No.3, pp.54-61 (1998)
- 18) D.E.Harris : Creating a Knowledge Centric Information Technology Environment (1996), (<http://www.htcs.com/ckc.htm>)
- 19) 近藤・藤田・米川 : 学内LANにおけるシステム運営の効率化とユーザサービス向上の試み, 高岡短期大学紀要, 第7巻, pp.29-38 (1996)
- 20) 近藤・米川 : 分散ネットワークにおけるサーバの集中管理法 (WWWホストへの実装), 高岡短期大学紀要, 第9巻, pp.13-24 (1997)

## **Trial Implementation of a Public Administrative Information System on an Intranet —A study on Information Management on a Web—**

Kiyoshi KONDO, Satoru YONEKAWA, Keiichiro DOI and Masahiro YAMAMOTO

(Received May 15, 1998)

### **ABSTRACT**

Takaoka City and Takaoka National College carried out a joint research into the effective way of sharing public administrative information among city office staff as well as among citizens. To provide citizens with public administrative information is so important that there are many cities which keep it open to the public on the Web. It is useful not only for citizens but also for city office staff. Paper brochures such as "The City Window Guide" is not suitable for reflecting the frequent change of information made by the staff of many departments which are involved in creation and maintenance of the administrative information. The authors developed a trial system which enables staff members to create and modify information on the Web. The system showed the feasibility of prompt modification and distribution of information. The role of information management on the Web within "Intranet" was studied based on the test results and the experience of the management of the Web of Takaoka National College.

### **KEY WORD**

Intranet, homepage, Web, public administrative information, information management, document information, information search